

参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り: 2012年10月14日(日)

ホームページからお申し込みできない方は、FAX(058-230-6468)でご連絡ください。
会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承下さい。

参加費: 2,000円(資料代)※学部学生無料
懇親会費: 5,000円(ホテルリソル岐阜)

受付時に徴収いたします。
資料代は、資料作成ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成の一部に使用いたします。
参加者には後日、報告書を送付いたします。(学部学生は報告書の送付は含まれません)

会場: 岐阜大学サテライトキャンパス
(岐阜スカイウイング37, 4階)



岐阜スカイウイング37
〒500-8844 岐阜市吉野町6丁目31番地
※岐阜駅周辺歩行者用デッキから2階に直結しています。

第46回 医学教育セミナーとワークショップ 開催要項・参加者募集

岐阜大学医学教育開発研究センターは、医学教育共同利用拠点として、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。
第46回医学教育セミナーとワークショップ(秋)は、岐阜駅前の岐阜大学サテライトキャンパスにおいて、3日間で開催いたしますので奮ってご参加ください。

岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之

日程 2012年10月26日(金)~28日(日)
会場 岐阜大学サテライトキャンパス

2012
秋

- WS-1 多職種連携教育(IPE)ー最新の実践報告と交流**
企画: 鈴木康之・川上ちひろ(MEDC)、高木 康(昭和大)、前野貴美(筑波大)
長谷由紀子(広島大)、阿部恵子(名古屋大)、吉村 学(地域医療振興協会)
- WS-2 インストラクショナル・システムズ・デザイン(ISD)による授業・実習改善ワークショップ**
企画: 池上敬一(獨協医大)、鈴木克明・都竹茂樹(熊本大)、紙谷あゆ美(横浜市大)
松本尚浩(東京慈恵医大)
- WS-3 医学教育研究、はじめの一步ーリサーチクエスチョンを立ててみよう**
企画: 日本医学教育学会 教育研究開発委員会 <第8回医学教育研究ワークショップ>
- WS-4 SP養成(初級編)ーSP養成者のためのワークショップ**
企画: 藤崎和彦(MEDC)、阿部恵子(名古屋大)
- Seminar 教育設計の原理ー医学教育への実践的応用**
講師: 鈴木克明(熊本大学大学院教授システム学専攻長)

全体のプログラム				
26日(金)	PM	WS-1		
27日(土)	AM	WS-1		WS-4
	PM	WS-2	WS-3	WS-4
	夕 夜		Seminar 懇親会	
28日(日)	AM	WS-2	WS-3	WS-4

※各々のワークショップは、一連のものです。

MEDC
MEDICAL EDUCATION DEVELOPMENT CENTER, GIFU UNIVERSITY

医学教育共同利用拠点:
岐阜大学医学教育開発研究センター
Tel: 058-230-6470
email: medc@gifu-u.ac.jp

MEDC 検索

WS-1 多職種連携教育(IPE) – 最新の実践報告と交流

企画: 鈴木康之・川上ちひろ(MEDC)、高木 康(昭和大)、前野貴美(筑波大)、長谷由紀子(広島大)
阿部恵子(名古屋大)、吉村 学(地域医療振興協会)

日時: 2012年10月26日(金)13:00~18:00、27日(土)8:40~12:00

概要: 現在、多職種連携教育が重要視されており、教育実践や調査研究が多く行われています。しかし複数の学科・学部での計画や実施は非常に難しいのが現状です。このワークショップでは、多職種連携教育をこれから実施する、もしくはさらに充実させたい担当者によるグループワークを行いながら意見交換を行います。IPEの実践は「何が難しいのか」「どのような工夫が有効なのか」「どのような効果をもたらすのか」などを探りたいと思います。また医学教育開発研究センターの全国共同利用拠点「多職種連携医療教育共同開発事業」で実施している5施設からの多職種連携教育の実践報告をうけ、各大学で実施するための手掛かりとしていただきたいと思います。

対象: 教員、指導医、臨床指導者、学生、研修医など。

定員: 30名

WS-2 インストラクショナル・システムズ・デザイン(ISD) による授業・実習改善ワークショップ

企画: 池上敬一(獨協医大)、鈴木克明・都竹茂樹(熊本大)、紙谷あゆ美(横浜市大)
松本尚浩(東京慈恵医大)

日時: 2012年10月27日(土)13:00~17:00、28日(日)9:00~12:30

概要: 医学部・看護学部における授業・実習をインストラクショナル・システムズ・デザイン(ISD)の手法により、より効果的・効率的・魅力的に改善する考え方と方法を、具体的な実践を通して学習することを目的とする。対象は医学部・看護学部のファカルティで、担当する授業・講義や実習・シミュレーション学習の改善を図りたいという目的を持っている方。すでに担当している課題(授業・実習のシラバス)を材料とし、段階的に紹介するISDの考え方と方法をスモールグループで活用しながら、それぞれの課題改善に取り組む。受講者の達成目標は、授業・実習を効果的・効率的・魅力的に設計するISDの考え方と方法を、自分の課題改善に適用し、ISD的に再設計された授業・実習案を持ち帰ること。

対象: **医学部・看護学部・薬学部・歯学部**の「教員」でかつ「授業」を担当する方に限定させていただきます。

定員: **30名** (対象と定員が変更になりました)

WS-3 医学教育研究、はじめの一步 –リサーチクエスチョンを立ててみよう

企画: 日本医学教育学会 教育研究開発委員会 <第8回医学教育研究ワークショップ>
(鈴木康之、大滝純司、石川ひろの、伊藤俊之、尾原晴雄、西城卓也、錦織 宏、向原 圭)

日時: 2012年10月27日(土)13:00~17:00、28日(日)9:00~12:30

概要: 医学・医療教育分野の研究が盛んになりつつありますが、いざ始めようとした時、どのような研究テーマにしたらいいか、迷うことが多々あります。どのようなリサーチクエスチョンが重要なのか? 国内的・国際的に見て魅力的なテーマとは? 実行可能性は? どのようなフィールド・方法・協力者を得たらよいか? などなど、1人で考えるのは大変です。このワークショップでは、リサーチクエスチョンを立てるプロセスを学び、参加者とタスクが協力して個々のニーズに合わせた研究テーマを立てることを目標とします。

対象: 医学教育研究について関心があり、これからテーマを考えようとしている方。

定員: 16名

WS-4 SP養成(初級編) –SP養成者のためのワークショップ

企画: 藤崎和彦(MEDC)、阿部恵子(名古屋大)

日時: 2012年10月27日(土)10:00~12:00、13:00~17:00、28日(日)9:00~12:30

概要: 医、歯、薬、看護、リハビリ、鍼灸、栄養等、多くの学科に模擬患者参加型教育が拡大するなかで、模擬患者参加型の医療者教育に対するニーズはますます増加している。本ワークショップでは、これから模擬患者養成に関わる人のために、模擬患者とは何か、どうやって模擬患者を集めるか、シナリオの作り方、練習の仕方、フィードバックについて等、初心者でも分かるような具体的、実践的な中味をグループワークを中心に学んでいきたい。

対象: SP養成者、教員、指導医、研修医、看護師、臨床指導者、学生など。

定員: 30名

Seminar 教育設計の原理 –医学教育への実践的応用

講師: 鈴木克明(熊本大学大学院教授システム学専攻長)

日時: 2012年10月27日(土)17:15~18:15

概要: 教育活動に携わる医療者であれば、多かれ少なかれ、授業、セミナー、プログラムやカリキュラムのデザインに関わることがあると思われます。そしてどのような設計をすれば、より学習者に魅力的かつ効果的な教育ができるのか、古今東西、教育者を悩ませてきました。熊本大学大学院教授システム学専攻長である鈴木克明教授は、日本を代表する教育システム学の第一人者です。教育システム学は、教育活動のみならずコースや教材をシステムとしてとらえ、科学的アプローチを行い、質の高い教育システムを提供することを目指しています。今回は、その最新の科学的原理をご紹介頂き、さらに医学教育への応用性についてご講演いただきます。

